

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開（オプトアウト）

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

本研究で用いる情報は通常診療内で実施した無記名でのアンケートのみであり、特定の個人を識別することは出来ません。

研究の名称	中心静脈ポート留置と自己管理に関するアンケート調査結果から、患者の不安を明らかにする検討 (受付番号：4513)
研究目的・意義	持続的な化学療法を必要とする患者さんにとって、利便性や安全性から中心静脈ポートが必要となります。しかしながら、日本では中心静脈ポート留置に消極的な患者さんが多いと報告されています。その多くは、漠然とした不安であり、手術や自己管理の理由などの説明が不十分であると報告されています。今回、中心静脈ポートの留置に伴い、仕事や趣味、普段の服装、自己管理を行うなどのケースでどのように不便を感じているのかを検討することで、患者さんの不安や不便をより具体的に知ることが出来ます。この研究により患者さんのニーズに沿った中心静脈ポート留置が可能となる非常に重要な研究です。
研究期間	2023年9月20日～2026年12月31日
研究方法	今回の研究では、外来化学療法を受けている患者さんに、通常診療として実施した中心静脈ポート留置や自己管理に関するアンケート結果を用いて検討を行います。
研究対象者	中心静脈ポートが留置されている患者さんでかつ外来化学療法を施行されている患者さんのうち、2023年7月1日から2023年8月31日までにアンケートにご協力いただいた方を対象とします。
利用する試料・情報の項目	患者さんの年齢、性別、自己管理をしているか、中心静脈ポートに対する不安、不安の原因、留置部位の多様性について、中心静脈ポートに対する不便などについての情報を実施したアンケート結果を用いて収集します。
利用する者の範囲	兵庫医科大学 下部消化管外科

	池田正孝（主任教授）片岡幸三（講師）木村慶（講師）宋智亨（助教）今田絢子（助教）伊藤一真（病院助手）大谷雅樹（病院助手） がんセンター 西村裕美子(看護師長)
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究責任者	兵庫医科大学病院 下部消化管外科 池田正孝
研究機関長	兵庫医科大学 学長 鈴木敬一郎
本研究に関する 連絡先	代表機関診：兵庫医科大学病院 下部消化管外科 担当者氏名：木村慶 【電話】(平日9時～17時) 0798-45-6372 (上記時間以外) 0798-45-6111